

E C L E A R

自動電子血圧計
上腕式血圧計 AS01

取扱説明書

HCM-AS01BTWH



このたびは、本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- ・本製品の使用目的は、健康管理のために、収縮期(最高)血圧及び拡張期(最低)血圧を測定することです。
- ・本製品は成人が在宅での自己血圧測定に使用するものです。医療機関・公共の場所で使用しないでください。
- ・本書では操作方法と安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。
- ・ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。また、本書を読み終わったあとは、大切に保管してください。

2025年10月作成(第3版)

目次

はじめに

安全上のご注意(必ずお守りください)	3
パッケージ内容の確認	8
各部の名称	9

準備する

工場出荷モードを解除する	10
充電する	11
日時を設定する	12
専用アプリ「ELECOM Healthcare」を使う	14

測定する

測定する前に	18
カフを巻く	19
正しい姿勢を確認する	21
血圧を測る	22
測定記録を見る	25

必要なとき

未転送記録を転送する	27
測定記録を消去する	28
初期化する	29
お手入れについて	30
保管のしかた	30
廃棄するときは	31

こんなときは	32
--------------	----

Q&A	35
-----------	----

製品仕様	37
------------	----

血圧記録表	40
-------------	----

ユーザーサポートについて	42
--------------------	----

保証規定	43
------------	----

安全上のご注意(必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害・財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生ずる危害や損害の程度を次の表示で区分し説明しています。

	警告	この表示がある項は、「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容です。
	注意	この表示がある項は、「傷害を負う可能性または物的損傷のみが発生する可能性が想定される」内容です。
		この絵表示はしてはいけない「禁止」の内容です。
		この絵表示は条件禁止の内容です。
		この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。

警告

	次のいずれかの場合は、医師の指導のもとでご使用ください。 ・使用中に皮膚炎など肌の異常を感じる場合 ・血行障害が長く発生する場合 ・透析治療中や動静脈ろうがある場合 ・重度の血行障害や血液疾患がある場合 傷害を負う原因になります。
	次のいずれかの状態や症状をお持ちの場合は、医師の指導のもとでご使用ください。 ・一般的な不整脈(心房性、心室性早期収縮、心房細動など) ・動脈硬化症 ・糖尿病 ・腎臓疾患 ・かん流低下 ・妊娠中や子かん前症(妊娠中毒症) ・乳腺切除した方 ・未成年の方 正しく測定できないことがあります。

警告

	血圧計の使用により腕に異常を感じたとき、または、異常な加圧、振動、音などを感じたときは、直ちに使用を中止し、カフを腕からはずしてください。 傷害を負う原因になります。
	けがや治療中の腕で測らないでください。また、点滴、輸血、動静脈(A-V)シャントをしている腕で測らないでください。 症状の悪化につながる場合があります。
	可燃性ガスや高濃度酸素環境下など火災や爆発のおそれがある場所では使わないでください。 火災や爆発の原因となります。
	下記のような医用機器との併用は絶対にしないでください。 ・ペースメーカーなどの体内植込み型医用電気機器 ・人工心肺などの生命維持用医用電気機器 ・心電計などの装着型医用電気機器 これらの医用機器の誤動作を招き、生命に著しい障害をもたらす原因となります。
	・測定結果の自己判断をしない。 ・治療を自己判断で行わない。 ・耐用期間を超えて使わない。 ・医療機関や公共の場所において不特定多数で使わない。 ・乳幼児など自分で意思表示できない人に使わない。 症状の悪化や傷害の発生、誤動作の原因になります。
	・カフに折りじわが付いたまま測らない。 ・必要以上の頻度で測らない。 傷害を負う原因になります。

注意

	・本体やカフなどを分解したり、改造したりしない。 ・本体に強いショックを与えたり、落としたりしない。 ・カフを腕に巻いていない状態で加圧しない。 本体の故障や破損、傷害を負う原因になります。あるいは、正しく測定できないことがあります。
--	--

 注意

	- 測定中に血圧計の近くで携帯電話やスマートフォン、タブレットPCを使わない。 - 電気メスなど電気手術器やMRI、CTスキャナーなど他の医療機器がある場所で使わない。 - 乗り物内で使わない。 - 血圧測定以外の目的で使わない。 危険や誤動作の原因になります。
	- 測定中に体を動かさない。 - 寒さなどで体が震えるときに測らない。 - 測定可能腕周の範囲外で使わない。 - 上腕以外の部位に巻いて測らない。 - カフの巻き方や測定姿勢を不適切にしない。 - 指定外の場所や条件で保管したり、使ったりしない。 - 使用するとところと保管場所に温度差があるときは、すぐに測らない。 正しく測定できないことがあります。
	乳幼児の手が届く場所に置いたり、保管したりしないでください。事故の原因になります。万一、本体(小さい部品等)を乳幼児が飲み込んだときは、直ちに医師に相談してください。
	使用環境条件の範囲内で使用してください。また、10分以上腕に装着したままにしないでください。 環境温度が40℃の場合、本体及びカフの最高温度は41℃を超える場合があります。
	DCコネクター差込口に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。 感電や故障の原因となります。
	DCコネクター差込口に金属類を差し込まないでください。 発熱や発火の原因となります。
	充電は必ず本製品を腕からはずした状態で行ってください。 事故の原因となります。
	専用USB充電器(電源プラグ)の抜き差しが困難な場所で使用しないでください。 異常発生時に電源の遮断が遅れ、事故や火災の原因になります。

⚠ 注意

	付属の専用USBケーブル、または指定の専用USB充電器以外は使用しないでください。 危険や誤動作の原因になります。
	専用USBケーブルを本体から抜くときはコードを持たず、必ずコネクタを持って引き抜いてください。 守らないと感電やショート、故障の原因となります。
	専用USBケーブルを無理に引っ張ったり、曲げたり、ケーブルの上に重いものを乗せたりしないでください。 ケーブルが傷ついたり断線したりし、火災や感電の原因となります。
	専用USBケーブルが傷んだり、DCコネクタ差込口がゆるいときは使用しないでください。 発火や感電の原因となります。
	トラベル用コンバーターなどの変圧器を使って充電しないでください。 発熱や発火の原因となります。
	シガーソケットなどを使って、車内で充電しないでください。 発火や発熱、故障の原因となります。
 ぬれ手禁止	濡れた手でケーブルに触らないでください。 感電や故障、事故の原因となります。
	付属の専用USBケーブルは本体の充電以外には使用しないでください。 専用USBケーブルは通信用途やその他の機器の充電には使用できません。
	本体が濡れた状態で、充電しないでください。 発熱や発火、感電の原因となります。
	ご使用の前に、本体に亀裂や割れが無いことを確認してからご使用ください。 感電や故障、発火の原因となります。
	充電時、専用USBケーブルは根元まで確実に差し込んでください。 差し込みが不完全な状態で充電すると、発火や感電の原因となります。
	3ヶ月に一度は必ず充電してください。 完全放電すると、充電できなくなる場合があります。
	充電中に停電したときは、直ちに充電を中止してください。 感電や故障、事故の原因となります。

⚠ 注意



本製品を廃棄するときは、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

■ワイヤレス(無線)についての注意事項

本製品は2.4GHz帯全域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。電波方式にはGFSK方式を採用し、与干渉距離は10mです。

2.4GHz帯は、医療機器や、IEEE802.11b/11g/11n規格の無線LAN機器などでも使用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局※」が運用されていないか確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局※」との間に電波干渉が発生した場合は、使用場所を変更するか、または本製品の使用を停止してください。

※「他の無線局」とは、本製品と同じ2.4GHz帯を使用する産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の生産ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局を示します。

⚠ 警告



- 誤動作により重大な影響を及ぼすおそれのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
 - 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼすおそれがあります。
 - 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、本製品を航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前に本製品の電源を切り、ご搭乗後は常にご使用にならないようお願いいたします。
 - 本製品は日本国内専用です。日本国外で使用しないでください。海外で使用されると、その国の電波法に抵触するおそれがあります。
- ※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じて、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

パッケージ内容の確認

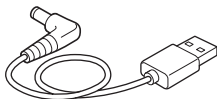
ご使用前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一、不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンター（➡P.42）までご連絡ください。

☒ 次のものがすべて揃っていることを確認してください。

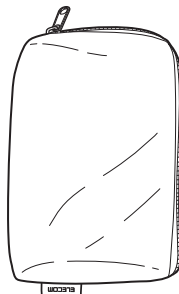
☐ 本体



☐ 専用 USB ケーブル



☐ 収納ポーチ

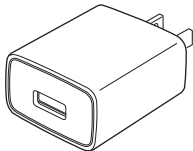


- ☐ 取扱説明書 (本書)
- ☐ 医療機器添付文書
- ☐ EMC技術資料

■別売品

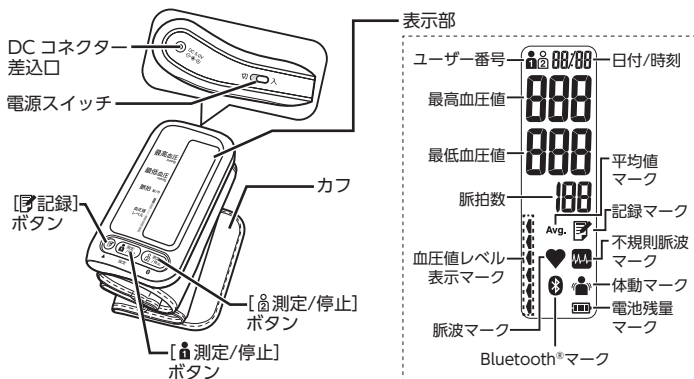
専用USB充電器

型番：HCM-AC1A01
(S005CDT0500100)



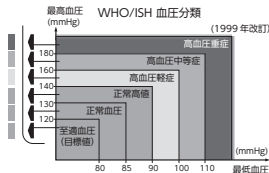
各部の名称

■本体



●マークの表示と意味

	ユーザー番号	選択されているユーザー番号を表示します。
	記録マーク	測定記録を呼び出したときに表示されます。
	平均値マーク	測定記録の平均値を呼び出したときに表示されます。
	不規則脈波マーク	測定中の脈が適切に検出されないときに表示されます。 ※このマークは不整脈であることをお知らせするものではありません。
	脈波マーク	測定時に血圧が検出されているときに表示されます。
	体動マーク	測定中に会話をしたり、体を動かしたりしたときに表示されます。
	Bluetooth®マーク	ペアリング中、または測定記録の転送中に表示されます。
	電池残量マーク	電池残量の目安が表示されます。
	血圧値レベル表示マーク	最高/最低血圧値に対して、WHO/ISH (世界保健機関/国際血圧学会) の血圧分類に基づき6段階で判別し、血圧値の状態を表示します。 ※測定結果の自己判断・治療はしないでください。かならず医師の指導に従ってください。



工場出荷モードを解除する

⚠ 注意:

- 工場出荷モードを解除しないと測定などの操作はできません。
 - 購入後、まず初めに工場出荷モードの解除を行ってください。
- ※一度解除すると以降はこの操作は必要ありません。

次の**A**もしくは**B**の方法にて解除してください。

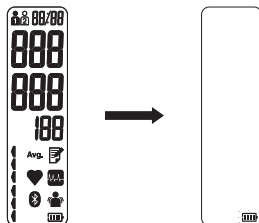
A

充電する。

本体に電源が供給され、表示部が全点灯した後に、「」(電池残量マーク)」が点滅した状態になると解除完了です。

※工場出荷モードが解除され、充電が開始します。

※充電方法の詳細は、『充電する』(⇒P.11)をご確認ください。



表示部が全点灯
します。

「」(電池残量マーク)」が点滅
した状態になります。

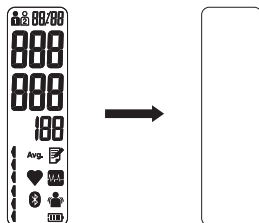
または

B

〔測定/停止〕ボタンを押しながら、電源スイッチを「入」にする。

表示部が約2秒間全点灯した後に消灯し、スタンバイ状態になると解除完了です。

※工場出荷モードが解除され、スタンバイ状態になります。



表示部が約2秒間
全点灯します。

表示部が消灯し、
スタンバイ状態になります。

充電する

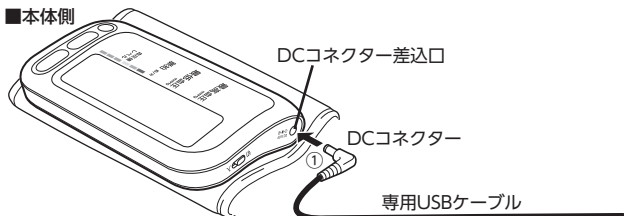
充電時間：約2.5時間

使いはじめ(購入直後や長時間使用しなかったとき)や使用中に電池残量がなくなったときは、必ず満充電になるまで充電してください。

① 専用USBケーブルのDCコネクタを本体のDCコネクタ差込口に接続します。

② 専用USBケーブルのUSB Aコネクタを以下のUSBポートに接続します。

■本体側



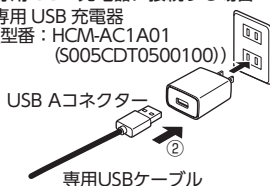
■PCに接続する場合

IEC60601-1規格適合のパソコンのUSB2.0、もしくはUSB3.0



■専用USB充電器に接続する場合

専用USB充電器
(型番：HCM-AC1A01
(S005CDT0500100))



③ 電源が供給されると充電を開始します。

充電中は「 (電池残量マーク)」が点滅し、満充電になると点灯になります。



⚠ 注意：

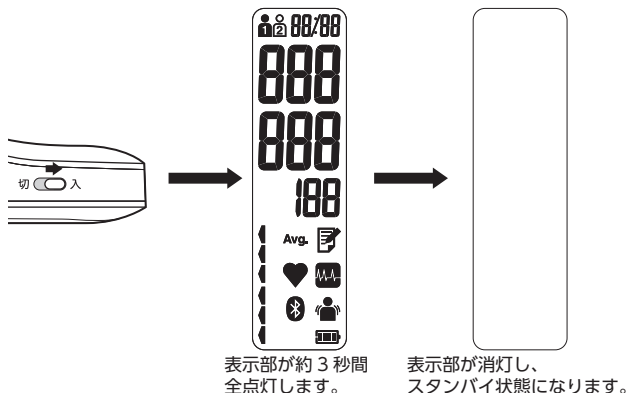
- ・充電は必ず本製品を腕からはずした状態で行ってください。
- ・トラベル用コンバーターなどの変圧器を使って充電すると、発熱や発火のおそれがあります。
- ・充電中は操作できません。
- ・本体を繰り返し充電すると満充電時に使用できる時間が少しずつ短くなります。極度に短くなったら電池の寿命ですが、電池の交換はできません。

日時を設定する

測定前に時計を合わせると、日時と一緒に測定結果を記録できます。

1 電源スイッチを「入」にし、スタンバイ状態にする

スイッチを「入」にすると、表示部が約3秒間全点灯した後に消灯します。



2 [人測定/停止] ボタンを長押しする

「年」が点滅表示されます。



3 [記録] ボタンを押して「年」を合わせる



4

[測定/停止] ボタンを押し、確定させる

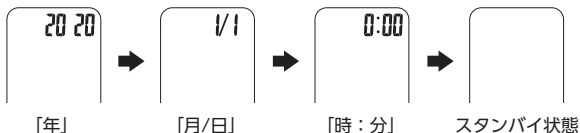
続いて「月」が点滅表示されます。



5

③、④の手順で「月」「日」「時」「分」を合わせる

「分」を確定させると「年」「月/日」「時：分」の順に表示され、スタンバイ状態になると設定完了となります。



※日時設定中は時計は停止しています。「分」を確定した時点で時計のカウントを開始します。

※日時設定中に[測定/停止]ボタンを押すか、無操作状態で約60秒経過すると、スタンバイ状態になります。日時設定中にスタンバイ状態になった場合は、最初から設定をなおしてください。

 専用アプリ「ELECOM Healthcare」を利用してスマートフォンなどに接続すると、自動的に本体の日時がスマートフォンなどの日時に更新されます。

専用アプリ「ELECOM Healthcare」を使う

本製品を活用するための専用アプリ「ELECOM Healthcare」に測定データを転送することで、血圧の変化をグラフなどで確認できます。

本製品単独でも使用は可能ですが、本製品の機能を充分に活用いただくには、専用アプリのご利用をお勧めします。

■専用アプリ「ELECOM Healthcare」を設定する



⚠ 注意：

データ通信サービスを利用してアプリをダウンロードする場合は、別途パケット通信料が必要になる場合があります。

- ① 専用アプリ「ELECOM Healthcare」のダウンロードページにアクセスします。
次の2つの方法があります。

Ⓐ QRを撮影してアクセス



Ⓑ URLをブラウザに直接入力
<https://healthcare.elecom.co.jp/>

※対応端末およびOSについては、ダウンロードページよりご確認ください。

- ② 「ELECOM Healthcare」をダウンロードします。

iOSの場合：

[Download on the App Store]を
タップし、Apple storeのダウンロード
ページが表示されます。

Androidの場合：

[GET IT ON Google Play]をタップ
します。
Google Playのダウンロードページ
が表示されます。

- ③ 画面の指示に従って、専用アプリ「ELECOM Healthcare」をインストールします。

- ④ 専用アプリ「ELECOM Healthcare」でアカウント登録をし、基本情報を入力してください。

アカウント登録をし、専用アプリ「ELECOM Healthcare」内で本製品のデバイス設定をすることで、測定値をアプリへ転送できるようになります。

※アカウント登録の際、「ELECOM Healthcare CLOUD」へのアカウント登録/ ログインをする画面が表示されます。登録/ ログインをすることで、測定データをクラウドへ保存することが可能になります。



- ・専用アプリ「ELECOM Healthcare」の詳しい使用方法や設定については、「ELECOM Healthcare」から表示される「オンラインマニュアル」をご覧ください。
- ・1つの端末（スマートフォン等）で管理できるユーザーは1名のみです。
- ※今後、アプリのアップデートで専用アプリ「ELECOM Healthcare」の仕様が変更される可能性があります。
- ※本製品は、Android 11以上またはiOS 16以上のスマートフォンに対応しています。
- ※専用アプリ「ELECOM Healthcare」の使用はスマートフォンの設定画面で、Bluetooth®を有効にしてから行ってください。
- ※本製品とアプリをBluetooth接続するためのデバイス設定は、スマートフォンの設定画面から行わず、専用アプリ「ELECOM Healthcare」で行ってください。

■オンラインマニュアルのご案内

専用アプリ「ELECOM Healthcare」の詳細な操作方法や機能については、専用のオンラインマニュアルをご覧ください。

【A】QRを撮影してアクセス



【B】URLをブラウザに直接入力

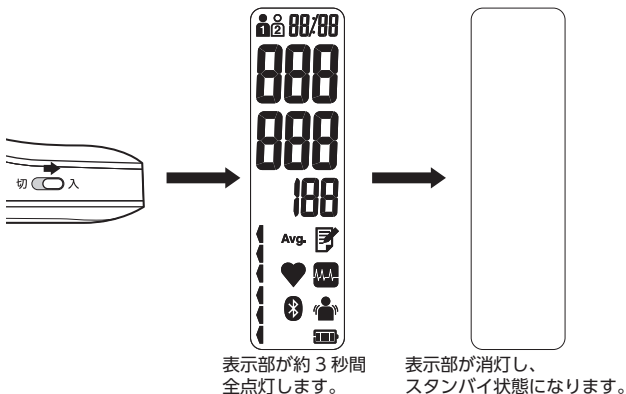
<https://app.elecom.co.jp/healthcare/manual.html>

■ペアリングする

本製品と専用アプリ「ELECOM Healthcare」をインストールしたスマートフォンなどをBluetooth®でペアリング(本製品をスマートフォンなどに接続する操作)します。

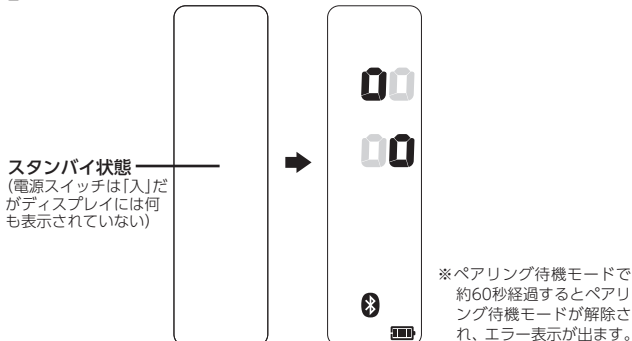
1 電源スイッチを「入」にし、スタンバイ状態にする

スイッチを「入」にすると、表示部が約 3 秒間全点灯した後に消灯します。



2 [測定/停止] ボタンを長押しし、ペアリング待機モードにする

📶 が点滅し、📶 (Bluetooth®マーク) が点灯します。



3 スマートフォンやタブレットPCのBluetooth®機能をオンにする

[iOSの場合] (例：iOS16.0)

[設定]-[Bluetooth]の順にタップし、Bluetooth画面で[Bluetooth]を「オン」にします。

[Androidの場合] (例：Android11.0)

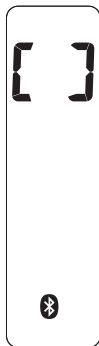
[設定]-[Bluetooth]の順にタップし、Bluetooth画面で[Bluetooth]を「ON」にします。

※詳しくはスマートフォンやタブレットPCの取扱説明書をご確認ください。

4 本製品をスマートフォンなどとペアリングする

専用アプリ「ELECOM Healthcare」を操作し、本製品とペアリングします。

※本製品のデバイス名は「HCM-AS01」です。



ペアリング完了画面



専用アプリ「ELECOM Healthcare」の詳しい使用方法や設定については、専用アプリ「ELECOM Healthcare」アプリ内で表示されるオンラインマニュアルをご覧ください。

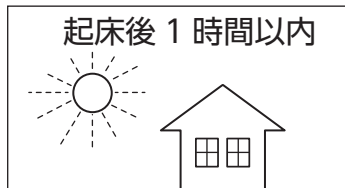
測定する前に

血圧は一日の中でも時々刻々と変化しています。日本高血圧学会は、起床時と就寝前(寝る前)の毎日決まった時に測定することを推奨しています。

■測定するタイミング

起床後は、起きて1時間以内、トイレをすませ、朝食の前、薬を飲む前に、約5分間安静にしてから測ります。就寝前も、約5分間の安静後に測ります。

<起床後>



- ・起床後1時間以内
- ・排尿後
- ・朝食前
- ・服薬前(降圧剤を飲んでいる場合)
- ・約5分間安静にしてから

<就寝前>



- ・約5分間安静にしてから

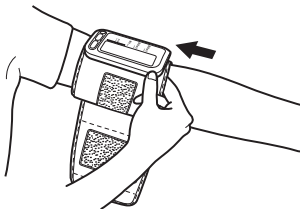
カフを巻く

カフは巻きやすい方の上腕部に巻いてください。ただし、左腕と右腕では測定値が異なる場合があるため、いつも同じ腕で測るようにしてください。

■カフを腕に巻く(左腕に巻く場合)

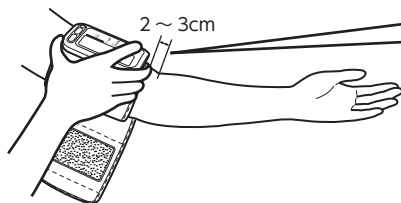
1 腕をカフに通す

手のひらを上にむけ、本体のボタン類が手前になるようにカフに腕を通します。



2 カフの位置を調整する

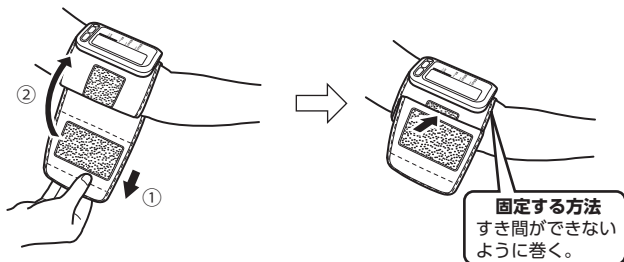
表示部が見やすい位置にくるように、カフの位置を調整します。



カフを巻く位置

カフがひじの関節部にかからないように、ひじの内側のくぼみから2~3cm 離して巻く。

3 面ファスナーで固定する



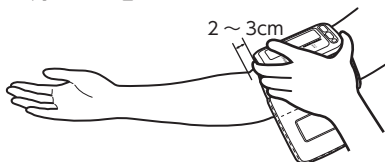
※カフは素肌、もしくは薄い肌着の上から巻いてください。

※厚い上着を着ている場合は、脱いでからカフを巻いてください。また、衣服などをまくり上げると上腕部が圧迫されて正しく測定できない場合があります。

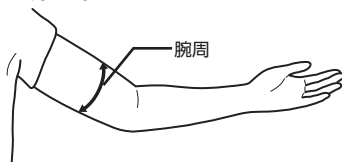
※カフの巻き方が緩すぎると正しく測定できない場合があります。



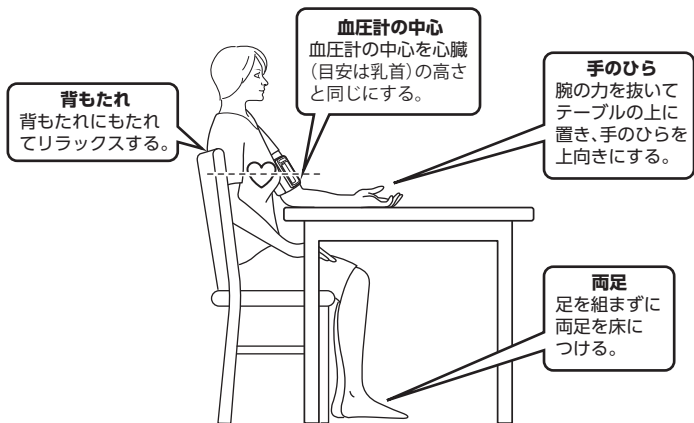
・右腕に巻くときも同じように巻いてください。



・測定可能腕周は、22 ~ 42cmです。腕周とは、ひじを軽く曲げた状態で、上腕部の中央あたりを測った腕まわりのことです。

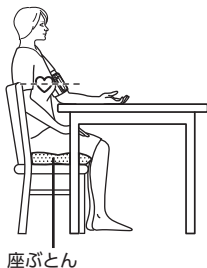


正しい姿勢を確認する



測定する

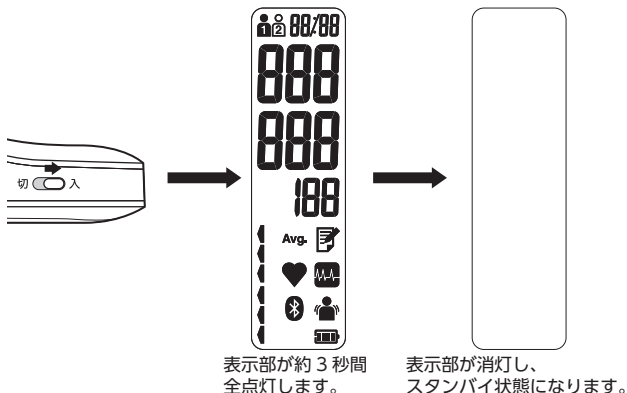
-  腹圧のかかる姿勢（まえかがみの姿勢）は正しく測定できない場合があります。
- ・測定中は本体に触れないでください。正しく測定できない場合があります。
 - ・測定中は体や腕、指先は動かさないでください。正しく測定できない場合があります。
 - ・測定中は話をしないでください。正しく測定できない場合があります。
 - ・血圧計の中心が心臓の高さに合っていない場合は、クッションやタオルなどをひじの下に置いたり、椅子に座ぶとんを敷いたりして、高さを調整してください。



血圧を測る

1 電源スイッチを「入」にし、スタンバイ状態にする

スイッチを「入」にすると、表示部が約3秒間全点灯した後に消灯します。



2 [測定/停止] ボタンを押し、測定を開始する

ユーザー【1】として測定したい場合は[測定/停止] ボタンを、ユーザー【2】として測定したい場合は[測定/停止] ボタンを押します。

※途中で測定を中止したい場合は[測定/停止] ボタン、または[測定/停止] ボタンを押してください。スタンバイ状態になり、カフの空気が抜けます。



1 起動



すべての文字やマークが表示されます

※このときに表示される電池のマークは、電池残量を表していません。点灯確認のために表示しています。

2 測定開始



選択されているユーザー番号、時刻、電池残量マークが表示され、加圧を開始します。

3 加圧中



脈拍を検知すると脈波検知マークが点滅します。

4 測定終了



測定結果、日付/時刻、血圧値レベルが表示され、本体に測定値が記録されます。

3 測定結果を確認する

「 (体動マーク)」、 「 (不規則脈波マーク)」が表示されたときは、「こんなときは」(→P.32)を参照してください。

4 測定記録をスマートフォンに転送する

測定終了後、自動的にBluetooth®での記録転送状態になります。
専用アプリ「ELECOM Healthcare」を起動し、ホーム画面上で本体から転送される測定記録を受信してください。

※ホーム画面を表示していないとデータが受信できません。



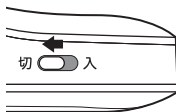
Bluetooth での記録転送状態



※記録転送状態で[測定/停止]ボタン、または[測定/停止]ボタンを押すか、約60秒受信されないと転送が中止されてスタンバイ状態になります。

※本体に記録されている未転送記録をスマートフォンなどに転送したい場合は『未転送記録を転送する』(➡P.27)をご確認ください。

5 電源スイッチを「切」にする



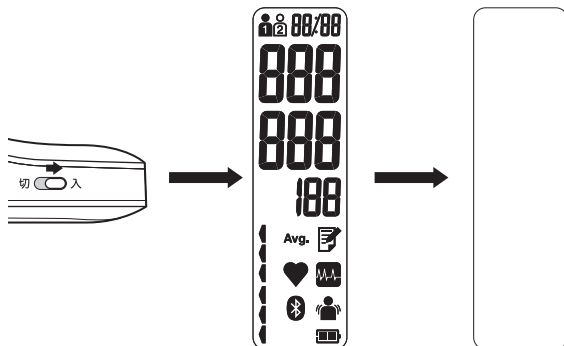
カフの締め付けにより、腕に一過性的の内出血が発生し、赤みが残る場合があります。異常を感じた場合は、速やかに本製品の[測定/停止]ボタン、または[測定/停止]ボタンを押して測定を中止し、カフを腕からはずしてください。

測定記録を見る

本製品はユーザー番号ごとに60回分の測定結果を記録でき、平均値と測定ごとの記録を呼び出すことができます。

1 電源スイッチを「入」にし、スタンバイ状態にする

スイッチを「入」にすると、表示部が約3秒間全点灯した後に消灯します。



表示部が約 3 秒間
全点灯します。

表示部が消灯し、
スタンバイ状態になります。

測定する

2 [記録] ボタンを押す

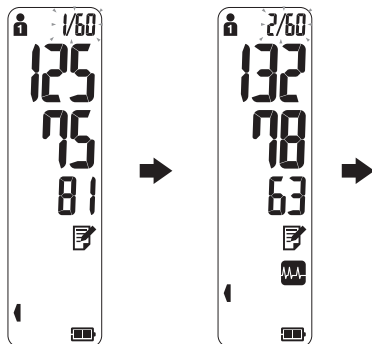
直近の 3 回の測定記録の平均値を表示します。



3

[記録] ボタンを押して確認したい測定記録を表示させる

[記録] ボタンを押すごとに新しい測定記録から順に表示されます。



※前回測定したユーザー番号の測定記録が表示されます。異なるユーザー番号の測定記録を見たい場合はその番号の[測定/停止] ボタンを押してください。

※測定記録は [記録] ボタンを押すごとに「平均値」→「最も新しい測定記録」→「2番目に新しい測定記録」→・・・という順に表示されます。

※測定記録を表示させるとまず「記録番号」が表示され、その後「年」「月/日」「時：分」が繰り返し表示されます。

※記録されている測定値が2回分以下の場合、平均値は表示されず、最も新しい測定記録が表示されます。

未転送記録を転送する

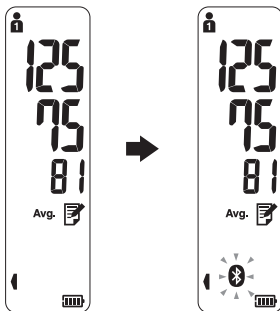
※この操作を行うと選択したユーザー番号のすべての未転送記録が転送されます。記録を1つずつ転送することはできません。

1 転送したいユーザー番号の記録を表示する

※記録の表示方法は『測定記録を見る』(➡P.25)をご確認ください。

2 [測定/停止] ボタンを長押しする

Bluetoothマークが点滅します。



3 専用アプリ「ELECOM Healthcare」を起動する

※Bluetooth機能がオンになっていることを確認してください。

4 測定記録を転送する

本製品から測定記録を受信します。



※記録転送状態で[測定/停止]ボタン、または[測定/停止]ボタンを押すか、約60秒受信されないと転送が中止されてスタンバイ状態になります。

測定記録を消去する

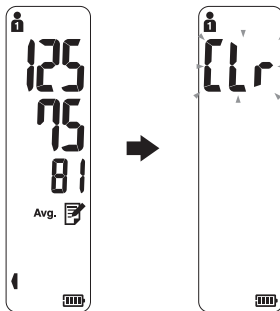
※この操作を行うと選択したユーザー番号のすべての測定記録が消去されます。記録を1つずつ消去することはできません。

1 消去したいユーザー番号の記録を表示する

※記録の表示方法は『測定記録を見る』(⇒P.25)をご確認ください。

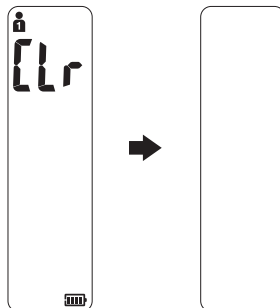
2 [記録] ボタンを長押しする

[Lr]が点滅表示されます。



3 [測定/停止] ボタンを押し、確定させる

約2秒間[Lr]が点灯し、スタンバイ状態になったら完了となります。



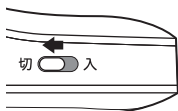
※操作中に[測定/停止] ボタンを押すか、無操作状態で約60秒経過すると、スタンバイ状態になります。操作中にスタンバイ状態になった場合は、最初から操作をしておしてください。

初期化する

※この操作を行うと本体に記録されているすべての設定と測定記録が消去されるのでご注意ください。

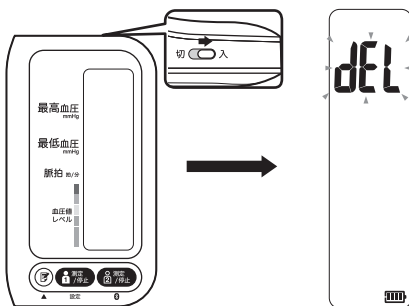
※この操作を行っても工場出荷モードにはなりません。

1 電源スイッチが「切」になっていることを確認する



2 [測定/停止] ボタンを押しながら電源を「入」にする

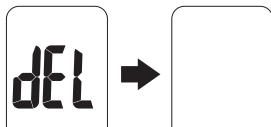
「dEL」が点滅表示されます。



必要
な
と
き

3 [測定/停止] ボタンを押し、確定させる

約2秒間「dEL」が点灯し、スタンバイ状態になったら完了となります。



※操作中に[測定/停止] ボタンを押すか、無操作状態で約60秒経過すると、スタンバイ状態になります。操作中にスタンバイ状態になった場合は、最初から操作をしておしてください。

お手入れについて

- ・いつも清潔にしてご使用ください。
- ・本体の汚れは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。
- ・汚れがひどいときは、水または薄めた中性洗剤をやわらかい布にしみ込ませ、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。汚れを拭き取った後、乾いたやわらかい布で拭きしてください。
- ・本体内部に水などが入らないようにしてください。
- ・汚れを落とすときには、アルコール、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
- ・カフは洗濯できません。
- ・カフをぬらさないでください。

保管のしかた

本製品は、次の条件を満たしている環境で保管してください。

保管温度：-20℃～60℃

保管湿度：10～90%RH

■お手入れと保管時のご注意

- ・お手入れをする時、ベンジン、シンナー、アルコールなどを使用しないでください。
- ・下記の場所には保管しないでください。
 - 直射日光の当たる場所
 - 高温、多湿、水気の近く、ほこりが多い場所
 - 振動が多い場所
 - 化学薬品の保管場所や腐食性ガスが発生する場所
- ・乳幼児の手がとどかない場所に置いてください。
- ・長時間ご使用にならないときは、満充電の状態でできるだけ常温（10～30℃）で保管してください。
- ・3ヶ月に1度は充電してください。完全に放電した状態になると充電できなくなる場合があります。



愛情点検		長年ご使用の自動電子血圧計の点検を!		
	こんな 症状はあり ませんか?	▶	ご使用 中止	事故防止のため、 製品の電源を切る、 または専用 USB ケーブル を抜いて、必ず販売店に 点検をご依頼ください。

廃棄するときは

■リチウムイオン電池のリサイクルについてお願い



Li-ion00

本製品は、リチウムイオン電池を内蔵しています。リチウムイオン電池はリサイクルすることができる大切な資源ですので、リサイクルにご協力をお願いいたします。本製品を廃棄する時は、お住まいの市区町村の指導に従ってください。

- 廃棄するときは、電池を分解しないでください。
 - 本製品は、一般家庭ごみとして廃棄しないでください。
- 廃棄されたリチウムイオン電池が、ごみ収集車などで破壊されてショートし、発火、発熱の原因になります。

■リチウムイオン電池の取り出し方

製品を廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

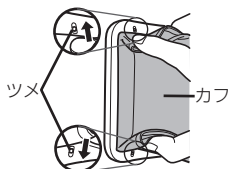


警告

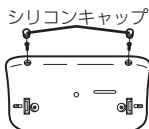
下記の手順は、製品を廃棄するためのものであり修理用のものではありません。ご自分で分解・修理した場合、機能が維持できず、故障または事故の原因になります。

- 充電残量がある場合は、電池を使いきってください。
- ドライバーを用い、次の手順で分解してください。

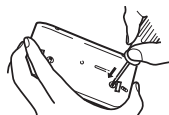
① 本体裏面のツメを外側にスライドさせ、カフをはずします。



② 本体裏面の2箇所のシリコンキャップをはずし、ネジをはずします。



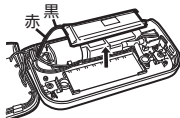
③ 上蓋以外の部分を持ち、本体裏面の黒い筒状のカフ接続部をドライバーなどで押し込んで上蓋をはずします。



④ 電池に接続されている黒いコードを切り、続いて赤いコードを切ります。

※黒と赤のコードは同時に切らないでください。
ショートする危険があります。

⑤ 電池を取りはずします。



- 取り出した電池は、⊕(赤)と⊖(黒)の端子をショートさせないように注意し、それぞれのコードの先端にテープを貼り絶縁してください。

必要なとき

こんなときは

こんなとき	原因と対処のしかた
どのボタンを押しても何も表示されない	電源スイッチが「切」になっている ▶ 電源スイッチを「入」にし、スタンバイ状態にしてから操作してください。 ➡P.12
	工場出荷モードになっている ▶ 工場出荷モードを解除してください。 ➡P.10
	充電が切れている ▶ 充電を行ってください。 ➡P.11
	電池の充電中 ▶ 電池の充電が終了してから、専用USBケーブルを抜いてご使用ください。 ➡P.11
使用中に意図せずスタンバイ状態になる	電池の充電が不十分、または充電が切れている ▶ 充電を行ってください。 ➡P.11
充電できない (表示部に何も表示されない)	長期間保管し、電池が完全放電した ▶ ご使用できません。完全放電させないように3 ヶ月に1度は充電してください。 ➡P.6
ペアリングできない	スマートフォンなどのBluetooth®機能が使用可能な状態になっていない ▶ スマートフォンなどのBluetooth®機能が使用可能な状態であることを確認してください。 ➡P.16
	アプリのホーム画面以外を表示している ▶ アプリのホーム画面を表示してください。 本製品の測定記録が自動転送されます。 ➡P.16
	本製品をペアリング待機モードにした後、時間が経過してから専用アプリ「ELECOM Healthcare」を起動した ▶ 本製品をスタンバイ状態にし、再度ペアリング待機モードにしてください。 ➡P.16
	▶ 本製品の電源を入れ直し、再度ペアリングを行ってください。 ➡P.16

こんなとき	原因と対処のしかた
転送されない	スマートフォンなどのBluetooth[®]機能が使用可能な状態になっていない ▶ スマートフォンなどのBluetooth[®]機能が使用可能な状態であることを確認してください。 ➡P.16
	スマートフォンなどとペアリングされていない ▶ 『専用アプリ[ELECOM Healthcare]を使う』を参照し、ペアリングを行ってください。 ➡P.14
	専用アプリ[ELECOM Healthcare]画面上の同期ボタンを押していない ▶ 『未転送記録を転送する』を参照し、本製品とアプリの同期を行ってください。 ➡P.27
圧力が上がらない	カフが空気漏れしている ▶ 弊社総合インフォメーションセンターにご連絡ください。 ➡P.42
	カフの巻き方が緩すぎる ▶ 腕とカフの間に隙間ができないようにぴったり巻いてください。 ➡P.19
[E01][E02]が表示	カフを正しく巻いていない ▶ カフを正しく巻き、もう一度測定してください。 ➡P.19
	カフが空気漏れしている ▶ 弊社総合インフォメーションセンターにご連絡ください。 ➡P.42
[E03]が表示	脈拍が検知されないまま、300mmHg以上加圧している ▶ 姿勢や巻き方など、正しい測り方を確認し、もう一度測定してください。 ➡P.19・21・22
[E10][E11][E12][E20][E21]が表示	脈が適切に検出されていない ▶ 姿勢や巻き方など、正しい測り方を確認し、もう一度測定してください。 ➡P.19・21・22
[E22]が表示	故障している ▶ 弊社総合インフォメーションセンターにご連絡ください。 ➡P.42

こんなとき	原因と対処のしかた
 が表示	スマートフォンなどとのペアリング失敗 ▶ スマートフォンなどのBluetooth[®]機能が使用可能な状態であることを確認してください。 ➡P.16 ▶ 専用アプリ[ELECOM Healthcare]が起動していることを確認してください。 ➡P.16 ▶ 『専用アプリ[ELECOM Healthcare]を使う』を確認し、もう一度ペアリングを行ってください。 ➡P.14・16 スマートフォンなどへの測定記録転送失敗 ▶ スマートフォンなどのBluetooth[®]機能が使用可能な状態であることを確認してください。 ➡P.16 ▶ 専用アプリ[ELECOM Healthcare]が起動していることを確認してください。 ➡P.16 ▶ 『未転送記録を転送する』を確認し、もう一度転送を行ってください。 ➡P.27
 が表示	製品の保護機能が働いていて、充電できない ▶ 本体から専用USBケーブルをはずし、常温(10～30℃)環境内にて数時間放置した後、再度充電を行ってください。
 が表示	電池残量が少なくなっている ▶ 充電を行ってください。 ➡P.11
 が表示	電池残量がなくなっている ▶ 充電を行ってください。 ➡P.11

※以上の方法でも解決しないときは、弊社総合インフォメーションセンターにお問い合わせください。

※ごくまれに体質上誤差が生じて、正しく血圧を測れないことがあります。医師にご相談ください。

Q 測るたびに測定値が異なる

A 血圧は、時々刻々と変化しています。よく知られる変動として、1日の中の変動(日内変動)や日ごとの変動(日間変動または日差変動)があります。また、1週間の中の変動(週内変動)や、寒い冬に高く、暑い夏に低くなる季節変動も知られています。これらの血圧変動の幅やパターンには個人差があります。家庭血圧を測って、ご自分のパターンを知り、血圧管理に役立ててください。

測定を上手に行うために次のことに気をつけましょう。

- 安静時間を取りましょう。
測定を始める前に、約5分間の安静時間を取りましょう。安静が十分取れていないと、血圧が安定せず、測定値がばらつきやすくなります。
- いつも決まった時に測りましょう。
朝は起床後1時間以内、晩は就寝前など、毎日決まった時に測りましょう。
- 血圧は常に変化しています。
続けて測定した場合、後の血圧の方が低い傾向があることが知られています。
- 快適な室温で測りましょう。
寒すぎたり、暑すぎたりすると、血圧が一時的に変動します。快適な室温のもと測定してください。
- 血圧が一時的に変動する要因を知りましょう。
次のようなときは、血圧が一時的に変化することが多いと言われています。しばらく時間をおいてから試してみましょう。
 - ・ 食事 ・ 飲酒 ・ カフェイン飲料 ・ 喫煙 ・ 運動や身体を使う作業
 - ・ 尿意/便意 ・ 会話 ・ 入浴

A 正しい姿勢、カフの巻き方、服装が確認しましょう。

前かがみなど、無理な姿勢は血圧を上昇させます。無理のない、リラックスできる姿勢で測りましょう。

正しい測り方は『カフを巻く』(➡P.19)『正しい姿勢を確認する』(➡P.21)をご参照ください。

Q 病院での値に比べて低い

A 病院での血圧は普段より高く出ることがあります。

病院では、身体活動や精神的緊張によって、無意識に血圧が高くなっていることが少なくありません。日本高血圧学会の治療ガイドラインでは、家庭血圧を優先して治療するよう推奨されています。血圧の記録を医師に持参して相談しましょう。

Q 病院での値に比べて高い**A** 安静時間を取りましょう。

測定を始める前に、約5分の安静時間を取りましょう。安静が十分取れていないと、高めに測定されやすくなります。

A 家庭で測った血圧を医師に持参して相談しましょう。

病院での血圧が正常でも、家庭での値が高い場合には、治療が必要な場合があります。すでに治療を受けている方は、お薬や服薬時間の調整が必要かもしれません。血圧の記録を医師に持参して相談しましょう。

Q カフの締め付けで、痛みやしびれを感じる**A** 一時的なもので、心配ありません。

血圧測定時は、カフの締め付けにより、痛みやしびれを感じることがありますが、カフをはずしてしばらくすると治まります。症状が長く続く場合は、医師にご相談ください。

Q (不規則脈波マーク) が表示されました。不整脈でしょうか？**A** (不規則脈波マーク) が表示されても、不整脈とは限りません。

マークが表示されても、不整脈とは限りません。ただし、頻繁に表示される場合には、医師にご相談ください。 (不規則脈波マーク) は、測定中に脈が適切に検出されないときに表示されます。

Q 右腕と左腕で測定値が異なる**A** 血圧は右腕と左腕で差が出る場合があります。

血圧は右腕と左腕で、10mmHg程度の差が出る場合があると言われています。左右どちらで測定していただいても結構ですが、毎回同じ側の腕で測定してください。

製品仕様

販売名	上腕式血圧計 AS01
製品型番	HCM-AS01BTWH
類別	機械器具 18 血圧検査又は脈波検査用器具
一般的名称	自動電子血圧計
医療機器の種類	管理医療機器
医療機器認証番号	301AGBZX00087000
型式承認番号	第Q1928号
表示方式	デジタル表示方式
通信方式	Bluetooth® 4.2 (Bluetooth low energy)
電波周波数	2.4GHz帯
電波方式	GFSK方式
電波到達距離	約10m(障害物がない場合) ※1
測定方式	オシロメトリック法
カフ圧力表示範囲	0 ～ 299mmHg
血圧測定範囲	最高血圧：60 ～ 230mmHg / 最低血圧：40 ～ 130mmHg
脈拍数測定範囲	40 ～ 199拍/分
測定精度	圧力：±3mmHg以内 / 脈拍数：±5%以内
加圧 / 減圧	加圧：自動加圧方式 / 減圧：自動急速排気方式
定格入力電圧/電流	DC5.0V/1A
内蔵電池	リチウムイオン電池 1000mAh ※2 ※3
繰り返し充電回数	約500回 ※2
充電時間	約2.5時間 ※4
動作回数	120回(満充電時) ※5
耐用期間	10,000回もしくは5年のいずれか早く到達した方
本体寸法	約 幅73×奥行24×高さ131mm (カフ含まず)
本体質量	約 288g
測定可能腕周	22 ～ 42cm
電撃保護	内部電源機器(血圧測定時)/クラスⅡ機器(充電時)
IP保護等級	IP20(本体)
作動(運転)モード	連続作動(運転) 機器
装着部の分類	BF形装着部
装着部の最高温度	43℃未滿
ソフトウェアバージョン	A01

はじめに

準備する

測定する

必要なとき

使用環境条件	5℃～40℃ /15%～90% RH (結露なきこと) / 800～1060hPa
保管環境条件	-20℃～60℃ /10%～90% RH (結露なきこと)
製造販売元	エレコムヘルスケア株式会社 大阪府大阪市中央区伏見町4丁目1番1号 L.A タワー 8F
製造元	Guangdong Transtek Medical Electronics Co.,Ltd.
生産国	中国
付属品	専用USBケーブル(約0.2m)、収納ポーチ、取扱説明書(本書)、 医療機器添付文書、EMC技術資料

- ・本製品は、JIS T 1115：2018に適合しています。
- ・本製品は、ISO 81060-2：2013の要求に基づき、臨床評価されています。

[動作原理]

血圧の測定時に上腕にカフを巻き、加圧する前に本製品は一度大気圧に等しい「ゼロ点」を確立させます。カフ圧力を徐々に加圧していくと、圧力に心拍が同期した脈動が現れます。この脈動の開始は小さく、加圧に従い大きくなり、やがて最大振幅を示した後、再び小さくなる山型のパターンになります。

オシロメトリック方式の血圧計は、この脈動分の振幅波形情報とカフ圧力をマイクロコンピュータで解析し、最高血圧及び最低血圧を決定しています。

※1 距離は、通信するBluetooth®機器の性能やそれぞれのバッテリー残量、周囲の環境に依存します。

※2 JIS C 8711に基づく

※3 過充電、過放電、過電圧、逆極性電圧 保護機能搭載

※4 使い切った電池を満充電する場合の目安

※5 動作内容、使用環境により変化します。

■ 専用アプリ

専用アプリの 対応OS	本製品は、Android 11以上またはiOS16以上のスマートフォンに対応しています。 ※専用アプリのアップデートにより変更になる場合があります。 ※本製品に対してすべての携帯電話、Bluetooth®機器、アプリケーションとの接続を保証するものではありません。
----------------	--

■ 製品に表示されているシンボルの意味

	非電離放射線
	クラスⅡ機器
	BF形装着部
	安全にお使いいただくため、取扱説明書を必ずお読みください。
	交流
	直流
	電源の極性
	室内専用
	日本の電波法で定めている技術基準に適合している無線機であることを証明するマークです。
	水ぬれ防止

(コピーしてお使いください。)

(コピーしてお使いください。)

年 月

[illegible]

■ 記入例

日	朝			晩			服薬	メモなど
	測定時刻	血圧値(mmHg)	脈拍 / 分	測定時刻	血圧値(mmHg)	脈拍 / 分		
2	7:32	175/99	74	21:28	158/90	73	○	かぜ気味

[illegible]

ユーザーサポートについて

商品に関するお問い合わせは

エレコム総合インフォメーションセンター

TEL.0570-084-465 FAX.0570-050-012

受付時間／10:00～19:00

年中無休

輸入事業者：エレコム株式会社

〒541-8765 大阪府大阪市中央区伏見町 4-1-1

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用によるお問い合わせ・サポート対応はいたしかねます。また、日本語以外の言語でのサポートはいたしかねます。商品交換は保証規定に沿って対応いたしますが、日本以外からの商品交換は対応いたしかねます。

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

選べる！充実サポート

LINE チャット
でサポート

LINEアプリから
友だち追加でかんたんに
チャットでお問い合わせ！

Web チャット
でサポート

ブラウザからでも
会員登録なしにお気軽に
ご相談いただけます。

チャット
サポートは
QR
からアクセス！



電話でサポート

エレコム製品サポートからカテゴリーごとに「よくあるご質問」や「サポートコミュニティ」をご紹介します。電話によるサポートが必要な場合は、サポートダイヤルをご用意しております。

連絡先はコチラから
8056.jp

※LINEおよびLINEヤフーロゴは、LINEヤフー株式会社の登録商標です。

保証規定

■保証内容

1. 弊社が定める保証期間（本製品ご購入日から起算されます。）内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。

※保証期間を超過している場合、有償となります

■無償保証範囲

2. 以下の場合には、保証対象外となります。

(1) 購入証明書および故障した本製品をご提出いただけない場合。

※購入証明書は、購入日、購入店、型番が確認できるもの（レシート・納品書など）を指します。

(2) 購入証明書に偽造・改変などが認められた場合。

(3) 中古品として本製品をご購入された場合。（リサイクルショップでの購入、オークション購入での中古品を含む）

(4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。

(5) 弊社が定める機器以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。

(6) 通常一般家庭、一般オフィス内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。

(7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。

(8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。

(9) その他、交換が認められない事由が発見された場合。

■免責事項

3. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。

4. 本製品の故障に起因する派生的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。

■有効範囲

5. この保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

上腕式血圧計
HCM-AS01BTWH
取扱説明書
2025年10月 第3版
エレコム株式会社

- 本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関するご意見、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡願います。
- 本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- 本製品を使用したことによる他の機器の故障や不具合等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- APP Storeは、Apple Inc.のサービスマークです。
- iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されております。
- Android、Android ロゴ、Google PlayおよびGoogle PlayロゴはGoogle LLCの商標または登録商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標であり、エレコム株式会社はこれらの商標を使用する許可を受けています。
- その他本書に記載されている会社名・製品名等は、一般に各社の商標または登録商標です。